

令和6年度「ひめとく」(姫路特別支援学校) グランドデザイン

【教育方針】

障害のある児童生徒が、自分らしく生き、社会で共に生きる力を育むために、学校(「ひめとく」)に関わる人が、教育課題等を共有・共感し、共鳴して連携・協働、切磋琢磨し、共に育っていくこと(共育)ができる学校づくりを実現する。

【めざす児童生徒像】

- ・自分も他者も大切にでき、思いやりのあるこころ豊かな児童生徒
- ・課題にチャレンジし、やり抜く児童生徒
- ・協力し合い、助け合い、認め合う児童生徒
- ・学びや経験を振り返り、次に生かせる児童生徒
- ・心通うあいさつができ、感謝の気持ちを育む児童生徒
- ・仲間とわくわくと安全に楽しみながら活動する児童生徒

【学校教育目標】

- ・児童生徒が、主体的によく学び、よく考え、判断し、表現・活動する意欲と力を高め、自分らしく生きる力を育む。(個別最適な学び)
- ・児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲と態度を高め、社会で共に生きる力を育む。(協働的な学び)

連続性のある多様な学びの場における教育の充実 (縦の連携)

【交流及び共同学習】

- ・副籍を生かした居住地校交流(直接的・間接的交流等)の充実
- ・近隣校との交流及び共同学習(直接的・間接的交流等)の充実

【キャリア教育】

- ・キャリア発達の視点を取り入れた一貫性のある系統的な教育課程を編成する。
- ・児童生徒の「働く意欲」や「働く力」を培い、自立や社会参加に向けてたくましく生きる力を育む。
- ・現場実習での事前指導や事後指導の充実を図り、キャリア形成に必要な支援を行う。

【ICT 機器の活用】

ICT 機器を積極的かつ効果的に活用し、授業内容の充実や指導の工夫・改善を図る。

校章



ひめとくフレンズ



自分のことは
自分でしよう

校訓

連携による切れ目ない相談・支援体制の充実 (横の連携)

【関係機関との連携】

- ・学校園等教育機関／保険・福祉機関／医療機関／労働機関／地域住民との連携を深め、情報の収集と提供を積極的に行う。
- ・「兵庫県版コミュニティスクール」を推進し、障害のある子どもたちが自立と社会参画をめざす共生社会の形成を図る。
- ・オープンスクール、ホームページの公開やブログの発信、「心のバリアフリー推進事業」等を通じて、本校教育活動に対する理解を図るとともに、開かれた学校づくりを推進する。

重症児の理解と支援の充実
(ルルド訪問学級)

職業コース就労支援の充実
(分教室)

【研究テーマ】

「できる」を増やす授業づくり～児童生徒の中心課題にせまる～